

インターバンクの声（2015年12月28日）

泣いても笑っても、今年のインターバンク市場も残すところあと三日となつてしまった。11月まで10円程の取引レンジ幅に留まっていたドル円相場がそのまま12月も波乱なく終えられれば、年間を通して10円の値幅に収まる初めての年になりそうだ。そうなれば気持ちは来年の相場に向かい始めることになるが、早くも来年も今年と同じように値幅が大きく広がることはないとの予想も出始めているようだ。毎年のこうした予想を年末31日や新年2日から掻き回すことが出来るのが例年の海外市場だ。来年は久々に1月2日と3日が土日に重なるため、日本市場と同じように海外勢にとっても新年の初取引は1月4日の月曜日になる。その意味でも今回は31日も特に相場を仕掛けるような海外勢も少なければ、個人の動向も波乱を呼ぶこともなさそうだ。年内のインターバンク市場は、余計な取引は控える典型的な守りの期間に入った。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。